

文化表現学科

観光

2020 年 6 月 10 日 更新

2020 年 4 月 1 日 更新

科 目 名	観光学総論			単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真
ナンバリングコード	TOS3221			授業形態	講義			
授 業 の 内 容	「観光」について、観光資源、観光産業、観光政策などの観点から、関連産業の意義と役割と機能を知り、観光産業で働ける実務能力を育む授業とする。							
到 達 目 標	1. 観光について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2. 旅行業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3. 宿泊業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 4. 交通業について総合的、多面的に理解し、説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと			
				復習	授業の狙いと意義について			
	第 2 回	内容	観光とは何か	予習	観光の定義を調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 3 回	内容	観光の歴史	予習	観光の歴史について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 4 回	内容	観光産業と経済	予習	観光産業について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 5 回	内容	観光産業①（宿泊業の事例）	予習	宿泊業について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 6 回	内容	観光産業②（運送業の事例）	予習	運送業について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 7 回	内容	観光産業③（テーマパークの事例）	予習	テーマパークについて調べておく			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 8 回	内容	観光と宗教（ホスピタリティとの関わり）	予習	ホスピタリティについて調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 9 回	内容	観光と地域（温泉）	予習	温泉地について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 10 回	内容	観光資源について	予習	観光資源について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 11 回	内容	世界遺産の事例（外国）	予習	外国の世界遺産について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 12 回	内容	世界遺産の事例（日本）	予習	日本の世界遺産について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 13 回	内容	観光政策（日本と世界）	予習	観光政策について調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 14 回	内容	東京オリンピックとインバウンド	予習	インバウンドについて調べておくこと			
				復習	授業内容を整理し理解すること			
	第 15 回	内容	全体のまとめ	予習	授業の全体の内容をまとめること			
				復習	授業の全体の内容を理解すること			
予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題レポートを回収し、コメントをして返却する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ 30%）							
教科書	必要に応じ配布資料を使う。							
参考文献	『観光学入門』（岡本伸之、有斐閣）							
注意事項	授業内容（PPT 画面など）は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。							

科 目 名	観光地理学			単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナバ°リング°コート°	TOS3231			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	日本の観光地の特徴と観光の目的について、歴史的な観点、現代的な観点、レジャー的な観点、地域振興などの多面的な観点から理解し、観光産業で働ける実務能力を育む授業とする。								
到 達 目 標	1. 日本及び世界の観光地の特徴について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2. 観光地と文化について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3. 観光地とその機能について宿泊業について理解し、説明できる。 4. 観光地の課題について理解し、説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について				
	第2回	内容	世界の観光地とその特徴	予習	世界の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第3回	内容	日本の観光地とその特徴	予習	日本の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第4回	内容	観光と文化	予習	文化ツーリズムについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第5回	内容	観光地と観光ニーズの変化	予習	観光の歴史について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第6回	内容	観光と自然景観	予習	自然景観が優れた観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第7回	内容	観光と温泉地	予習	温泉地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第8回	内容	観光とリゾート地	予習	リゾート地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第9回	内容	都市観光について	予習	都市観光について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第10回	内容	観光と祭り①（日本）	予習	日本の祭りについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第11回	内容	観光と祭り①（世界）	予習	世界の祭りについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第12回	内容	観光と郷土料理	予習	フードツーリズムについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第13回	内容	観光と寺社	予習	日本の有名な寺社について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第14回	内容	観光と文化施設	予習	美術館や公園などについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第15回	内容	観光と街並み	予習	歴史的建造物について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	適宜、確認の時間を取ります。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 70%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30%）							
教科書	必要に応じ配布資料を使う。								
参考文献	『ツーリズムの地理学』（菊地俊夫、二宮書店）								
注意事項	授業内容（PPT 画面など）は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。								

科 目 名	異文化コミュニケーション		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	CUL3131		授業形態	講義			
授 業 の 内 容	日本での常識が外国では通用しないことが多数あり、日本人同士でも年齢や性別、職業や地位、出身地によって文化や価値観に違いがあります。この授業では、文化的背景を異にする者同士が相手の立場からコミュニケーションを取るために、複数の地域の文化を考える力を養い、文化の交流に積極的に取り組む姿勢を身につけます。						
到 達 目 標	1. 世界の国々のさまざまな文化の違いを説明できる。 2. 異文化の人びとに日本の魅力を伝えることができる。 3. 外国語に関心をもち、異文化の人びととコミュニケーションが取れるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1， 2， 3）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション		予習	シラバスを読んでおく	
			異文化による問題発生の事例研究		復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	異文化コミュニケーションの基礎概念		予習	文化とは何かについて調べる	
					復習	異文化コミュニケーションの意味をまとめる	
	第3回	内容	異文化コミュニケーションにおける重要キーワード		予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる	
					復習	場所・社会的状況、歴史などの影響をまとめる	
	第4回	内容	自己とアイデンティティ		予習	アイデンティティの意味を調べる	
					復習	アイデンティティと自己概念の理解とまとめ	
	第5回	内容	社会・文化的アイデンティティ		予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる	
					復習	社会や文化が与える影響についてまとめる	
	第6回	内容	異文化コミュニケーションの衝撃 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究①		予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする	
					復習	偏見や差別等の障壁について考えをまとめる	
	第7回	内容	文化的価値の学習過程 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究②		予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする	
					復習	文化的価値の共有と継承の仕組みをまとめる	
	第8回	内容	宗教・文化・芸術との関係性 [グループワーク] 世界の五大宗教についての調査研究		予習	新聞等から異文化間の宗教の問題を調べる	
					復習	関心のある宗教について調べ、まとめる	
	第9回	内容	政治・教育・産業との関係性 [グループワーク] 宗教についての発表と比較研究		予習	新聞等から異文化間の政治の問題を調べる	
					復習	宗教や主義の違いがもたらす影響をまとめる	
	第10回	内容	日本の歴史や文化等を通して自国を見直す [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話修得（挨拶）		予習	外国語による挨拶について調べる	
					復習	日本の歴史・文化について考えをまとめる	
	第11回	内容	コミュニケーションスタイルの多様性 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（自己紹介）		予習	外国語による自己紹介を考える	
					復習	個人差と文化差について意見をまとめる	
	第12回	内容	コミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（質問対応）		予習	外国語での質問に対する回答について調べる	
					復習	ノンバーバルコミュニケーションの重要性についてまとめる	
	第13回	内容	相互理解を図るための話し方と聞き方 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（日本食紹介）		予習	外国語による日本食の紹介を考える	
					復習	相互理解を図るために必要な要素をまとめる	
	第14回	内容	コミュニケーションを取る際の注意点と心構え [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話（観光地紹介）		予習	外国語による観光地の紹介を考える	
					復習	訪日客に対する配慮について考えをまとめる	
第15回	内容	新聞やニュースから現在の世界の状況を把握する 授業の総括と演習		予習	新聞等から異文化間の問題を調べる		
				復習	異文化理解に関する今後の取り組みをまとめる		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40％）、作品・発表（40％）、授業態度（20％）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	1. 始業時間は厳守してください。レジュメやレポート課題は毎回インターネットで配信します。 2. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れた全員参加型ですので、楽しく活発になるように協力してください。						

科 目 名	実用英語			単 位 数	2	実務経験	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	ENL3211			授業形態	講義			
授 業 の 内 容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。							
到 達 目 標	1. 英語の基礎力を身に着ける（語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる） 2. 英語で日常生活における基本的なコミュニケーションをとることができる 3. どのような分野の英語の文章でも大意を理解することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	TOEIC の試験概要について確認する			
	第 2 回	内容	Unit 1. Events:名詞 平叙文のリスニング問題と名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	可算名詞・不可算名詞について理解する			
	第 3 回	内容	Unit 2.Eating Out:代名詞 Yes/No 疑問文のリスニング問題と代名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	代名詞の格と再帰代名詞について理解する			
	第 4 回	内容	Unit 3.Shopping:動詞 買い物についてのリスニング問題と動詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	自動詞と他動詞について理解する			
	第 5 回	内容	Unit 4.Office:進行形 同僚との会話のリスニング問題と進行形の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	進行形の用法について理解する			
	第 6 回	内容	Unit 5.Housing：形容詞 住居に関する会話のリスニング問題と形容詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	形容詞・数詞について理解する			
	第 7 回	内容	Unit 6.Community:副詞 地域行事に関する会話のリスニング問題と副詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	副詞の役割について理解する			
	第 8 回	内容	Unit 7.Facilities：動名詞 施設に関する会話のリスニング問題と動名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	動名詞の用法について理解する			
	第 9 回	内容	Unit 8.Personnel：品詞 面接での会話のリスニング問題と品詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	品詞について理解する			
	第 10 回	内容	Unit 9.Meeting & Workshops:不定詞 Workshop に関する会話のリスニング問題と不定詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	不定詞の 3 つの用法について理解する			
	第 11 回	内容	Unit 10.Transaction & Finance:接続詞 ローンに関する会話のリスニング問題と接続詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	接続詞の役割・前置詞との違いについて理解する			
	第 12 回	内容	Unit 11.Travel:前置詞 旅行に関する会話のリスニング問題と前置詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	前置詞の用法について理解する			
	第 13 回	内容	Unit 12.Health:比較 クリニックの予約電話のリスニング問題と比較の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	比較の基本的な 3 つの形を理解する			
	第 14 回	内容	Unit 13.Letter & Email:現在完了 Email に関する会話のリスニング問題と現在完了の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	現在完了形の 3 つの意味を理解する			
	第 15 回	内容	Unit 14.Ads&Notice：受動態 商品の割引に関するリスニング問題と受動態の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる			
				復習	受動態の形と能動態の違いについて理解する			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（30％）、レポート・課題（40％）、授業態度（30％）							
教科書	『Full Gear for the TOEIC L&R Test』（Mark D. Stafford、妻鳥千鶴子、松井こずえ、金星堂 2018 年）							
参考文献	なし							
注意事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。							

科 目 名	イベント・プランニング		単 位 数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和	
ナンバリングコード	FAB3211		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	観光関連産業の一つであるイベントは、「人と人」をつなぐコミュニケーション・メディアとしての役割を持ち、観光及びコミュニティ活動を活性化していくための効果的な手段として注目されています。この授業ではイベントについて理解し、観光と関連したイベントを企画することによって、観光アイディアを生み出し、提案していく力を身につけることを目指します。							
到 達 目 標	1. イベントと観光の関係を理解し、説明できる 2. 観光に関するイベントのアイディアを発想することができる 3. アイディアをもとに新しいイベントの企画書を作成し、発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：イベントとは何か	予習	シラバスを読んでおくこと			
				復習	授業内容を理解すること			
	第 2 回	内容	イベントの歴史と分類	予習	イベントとは何かについて調べておく			
				復習	イベント内容について理解する			
	第 3 回	内容	コミュニケーション・メディアとしてのイベントの機能と効果	予習	イベントのコミュニケーション機能を調べておくこと			
				復習	イベントのコミュニケーション機能を理解すること			
	第 4 回	内容	観光産業としてのイベントの機能・効果	予習	観光とイベントの関係について調べておくこと			
				復習	観光とイベントの関係を理解すること			
	第 5 回	内容	観光及びイベントに関する関連法規	予習	観光・イベント関連法規について調べておくこと			
				復習	観光・イベント関連法規について理解すること			
	第 6 回	内容	博物館・美術館の展覧会① 展示のプロセス	予習	日本の博物館について調べておくこと			
				復習	博物館の展示について理解すること			
	第 7 回	内容	博物館・美術館の展覧会② 展示の事例	予習	日本の美術館について調べておくこと			
				復習	美術館の展示について理解すること			
	第 8 回	内容	イベントの企画	予習	イベントとは何かについて調べておくこと			
				復習	イベントの機能について理解すること			
	第 9 回	内容	イベント企画の手法 アイディア発想	予習	イベントの発想を考えておくこと			
				復習	イベントの発想を具体化させること			
	第 10 回	内容	イベント企画・立案	予習	イベントの企画について考えておくこと			
				復習	イベントの企画・立案について推敲しておくこと			
	第 11 回	内容	イベント企画書の制作①	予習	イベント企画書を考えておくこと			
				復習	イベントの企画書の推敲をすること			
	第 12 回	内容	イベント企画書の制作②	予習	イベント企画書をまとめる作業を考えておくこと			
				復習	イベント企画書に遺漏がないか考えること			
	第 13 回	内容	プレゼンテーション① 準備	予習	イベント企画書のプレゼンの準備をすること			
				復習	イベント企画を確認すること			
	第 14 回	内容	プレゼンテーション② 発表	予習	発表の準備をしておくこと			
				復習	発表後の反省点・課題点を考えること			
	第 15 回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	全体を総括して問題点・課題点を考えておくこと			
				復習	実践に活かせることを考える			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート・課題（20%）、発表（30%）、授業態度（20%）						
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。							
参考文献	授業の中で随時、紹介します。							
注意事項								

科 目 名	観光事業論			単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナンバリングコード	TOS3223			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	観光は、国の経済成長や地域振を支える重要な事業である。多様な観光事業の現状を具体的な事例から理解し、観光マネジメントやマーケティングの理論と実務能力を身につける授業となる。								
到 達 目 標	1.観光事業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2.観光メディアについて総合的、多面的に理解し、説明できる。 3.日本における観光事業の現状について総合的、多面的に理解し、説明できる。 4.観光と経済学との関わりについて総合的、多面的に理解し、説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について				
	第 2 回	内容	観光事業とは	予習	観光事業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 3 回	内容	観光事業と出版	予習	出版業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 4 回	内容	観光事業と放送	予習	放送業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 5 回	内容	観光事業と旅行（日本）	予習	日本の旅行業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 6 回	内容	観光事業と旅行（世界）	予習	世界の旅行業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 7 回	内容	観光事業と航空	予習	航空会社について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 8 回	内容	観光事業と鉄道	予習	鉄道について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 9 回	内容	観光事業と自動車	予習	自動車業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 10 回	内容	観光事業と土産品	予習	土産品について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 11 回	内容	観光事業と飲食	予習	飲食業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 12 回	内容	観光事業と宿泊	予習	宿泊業について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 13 回	内容	観光事業とマーケティング	予習	マーケティングについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 14 回	内容	観光事業とホスピタリティ	予習	ホスピタリティについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第 15 回	内容	全体のまとめ	予習	授業の全体の内容をまとめること				
				復習	授業の全体の内容を理解すること				
	予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題レポートを回収し、コメントをして返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ 30%）							
教科書	必要に応じ配布資料を使う。								
参考文献	『観光ビジネス論』（谷口知司・中島 智、ミネルヴァ書房）								
注意事項	授業内容（PPT 画面など）は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。								

科 目 名	環境ツーリズム論			単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナンバリングコード	TOS3232			授業形態	講義				
授 業 の 内 容	環境ツーリズム（エコツーリズム）とは、地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光の概念のひとつである。また、地域資源の魅力を観光客に伝えることにより、その価値が再認識でき、保全につながっていくことを目指していく。地域社会の活性化の仕組みの知識と、その方法を身につける授業となる。								
到 達 目 標	1.環境ツーリズムについて総合的、多面的に理解し、説明できる。 2.環境ツーリズムと観光との関わりについて総合的、多面的に理解し、説明できる。 3.日本と世界の環境ツーリズムについて総合的、多面的に理解し、説明できる。 4.持続可能な環境ツーリズムについて総合的、多面的に理解し、説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について				
	第2回	内容	環境ツーリズムとは	予習	環境ツーリズムについて調べておく				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第3回	内容	世界における環境ツーリズムの展開	予習	世界の環境ツーリズムについて調べておく				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第4回	内容	日本における環境ツーリズムの展開	予習	日本の環境ツーリズムについて調べておく				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第5回	内容	環境ツーリズム推進法と推進地域	予習	環境ツーリズムの政策について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第6回	内容	自然保護地域における環境ツーリズム	予習	日本や世界の自然保護地域を調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第7回	内容	歴史保存地域における環境ツーリズム	予習	日本や世界の歴史保存地域を調べておく				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第8回	内容	環境ツーリズム（海）	予習	海に関する環境ツーリズムを調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第9回	内容	環境ツーリズム（山）	予習	山に関する環境ツーリズムを調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第10回	内容	環境ツーリズム（農村）	予習	農村に関する環境ツーリズムを調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第11回	内容	都市における持続可能な観光	予習	持続可能な観光について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第12回	内容	環境ツーリズムとその利用（世界）	予習	世界の環境ツーリズムについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第13回	内容	環境ツーリズムとその利用（日本）	予習	日本の環境ツーリズムについて調べておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第14回	内容	環境ツーリズムの課題と展望	予習	環境ツーリズムの課題について考えておくこと				
				復習	授業内容を整理し理解すること				
	第15回	内容	全体のまとめ	予習	授業の全体の内容をまとめること				
				復習	授業の全体の内容を理解すること				
	予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題レポートを回収し、コメントをして返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ 30%）							
教科書	必要に応じ配布資料を使う。								
参考文献	『ジオツーリズムとエコツーリズム』（深見 聡、古今書院）								
注意事項	授業内容（PPT 画面など）は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。								

科 目 名	エアライン実務		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナンバリングコード	TOS3222		授業形態	演習	有		
授 業 の 内 容	エアライン業界及び輸送業界の現状を把握し、それぞれの仕事を理解する。エアライン・輸送業界で働くことをイメージし、求められる知識・適正と能力（美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心）を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。						
到 達 目 標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1, 2, 3, 4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ・航空機の歴史・航空業界の歴史（グループワーク）	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく		
				復習	この科目を通して習得・体得することを理解する		
	第 2 回	内容	エアライン業界の基本を学ぶ ・エアライン・ビジネスとは（グループワーク）	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	エアライン・ビジネスの特徴についてまとめる		
	第 3 回	内容	エアライン業界研究 ①（グループワーク） ・各エアライン企業の特徴 外資系と日系企業の違い	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	航空会社の提携やアライアンスについてまとめる		
	第 4 回	内容	エアライン業界研究 ② ・空港について学ぶ（グループワーク）	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	空港の概要と課題についてまとめる		
	第 5 回	内容	エアライン業界研究 ③（グループワーク） ・航空会社の関連事業 エアラインを支える仕事	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	航空会社直結の事業観念についてまとめる		
	第 6 回	内容	エアライン実務 ①（グループワーク） ・旅客ハンドリング	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	旅客ハンドリングについてまとめる		
	第 7 回	内容	エアライン実務 ②（グループワーク） ・グランドハンドリング（演習）	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	空港業務や運行管理についてまとめる		
	第 8 回	内容	エアライン実務 ③（グループワーク） ・客室乗務員の仕事（演習）	予習	テキストの該当ページを読んでおく		
				復習	客室乗務員の安全業務とサービスについてまとめる		
	第 9 回	内容	エアライン適正開発 ①（グループワーク） ・エアラインで働くには（求められる素養と適正理解）	予習	エアラインの試験について調べておく		
				復習	エアライン受験に向けてするべきことを整理する		
	第 10 回	内容	エアライン適正開発 ②（グループワーク） ・表情から改善 印象形成（演習）	予習	印象形成について調べておく		
				復習	自然な笑顔が表現できるよう、日々実行する		
	第 11 回	内容	エアライン適正開発 ③（演習） ・第一印象をアップする（ヘア・メイク）	予習	明るい印象のヘアスタイルとメイクを調べる		
				復習	自分に似合うヘアスタイルとメイクを身につける		
	第 12 回	内容	エアライン適正開発 ④ ・身だしなみ・立ち居振る舞い（ペア・ワーク）	予習	身だしなみ・立ち居振る舞いについて調べる		
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する		
	第 13 回	内容	エアライン適正開発 ⑤ ・美しい言葉づかい（ペア・ワーク）	予習	正しい敬語の遣い方について調べる		
				復習	日々、習得した美しい言葉づかいで話す		
	第 14 回	内容	エアライン適正開発 ⑥ ・伝え方・積極的な聴き方（ペア・ワーク）	予習	積極的な伝え方・聴き方について調べる		
				復習	習得した伝え方・聴き方を日々実行する		
	第 15 回	内容	エアライン適正開発 ⑦ ・好印象の接客対応を体得する（演習）	予習	客室乗務員のサービスの仕方について調べる		
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題シートに対しコメントを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60％）、レポート・課題（20％）、授業態度（20％）						
教科書	『エアライン・ビジネス入門』稲本恵子（編著） 晃洋書房						
参考文献	なし						
注意事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。 ※担当教員は、キャビンアテンダントとしての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。						

科 目 名	エアライン英会話			単 位 数	2	実務経験	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子	
ナンバリングコード	ENL3221			授業形態	演習	有			
授 業 の 内 容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 英語面接で想定される質問に対し、応答を作成し、英語面接でのスムーズな応答の練習をしていきます。 エアライン業務を想定し、お客様対応のフレーズを練習します。								
到 達 目 標	1 英語での自己表現が、感情豊かにできる 2. 英語での質疑応答ができる 3. エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションができる 4.								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 10Tips and strategies(10 のヒントと戦略)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく				
				復習	この授業を通して習得できることを理解する				
	第2回	内容	Personal Information ① 自己紹介を英語でしよう (ペア・ワーク)	予習	英語での自己紹介を考えてくる				
				復習	作成した自己紹介を暗記して言えるようにする				
	第3回	内容	Personal Information ① 英語での自己理解 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	作成した自己理解を伝えられるようにする				
	第4回	内容	Family ① 家族のことを英語で話そう (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	作成した家族について英語で話せるようにする				
	第5回	内容	Family ② 家族のことを英語で話そう (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	作成した家族について英語で話せるようにする				
	第6回	内容	Interests and Hobbies① 興味のあることと趣味について (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	作成した文がスムーズに伝えられるようにする				
	第7回	内容	Interests and Hobbies② 興味のあることと趣味について (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	作成した文がスムーズに伝えられるようにする				
	第8回	内容	Education and Experience 学びや経験について (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	作成した文がスムーズに伝えられるようにする				
	第9回	内容	お客様への対応① 注意したいフレーズ 気持ちが伝わるフレーズ (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	学んだフレーズを伝えられるようにする				
	第10回	内容	お客様への対応② お客様との会話-1 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	学んだフレーズを伝えられるようにする				
	第11回	内容	お客様への対応③ お客様との会話-2 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	学んだフレーズを伝えられるようにする				
	第12回	内容	カウンターでの会話 (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	学んだフレーズを伝えられるようにする				
	第13回	内容	エアライン専門用語を覚える① (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	学んだフレーズを伝えられるようにする				
	第14回	内容	エアライン専門用語を覚える② (ペア・ワーク)	予習	例題の英文の意味を調べてくる				
				復習	学んだフレーズを伝えられるようにする				
	第15回	内容	英語でスピーチ	予習	自己紹介フレーズを練習してくる				
				復習	他者のスピーチを参考にする				
	予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題シートに対しコメントを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）しない 成績評価の方法：課題（40％）、作品・発表（40％）、授業態度（20％）							
教科書	なし								
参考文献	なし								
注意事項	授業で学んだことを日々復習し、英語で表現することに取り組んでほしい。配布シートは必ずファイルをして、テキストファイルを作成する ※担当教員は、キャビンアテンダントとしての経験を生かして授業を実施する実務家教員である。								

科 目 名	観光英会話			単 位 数	2	実務経験	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナバ [®] リング [®] コード [®]	ENL3231			授業形態	演習			
授 業 の 内 容	本授業では、訪日外国人観光客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。 近年の訪日外国人観光客の急増に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。							
到 達 目 標	1. 外国人観光客に英語に必要な情報を提供することができる 2. 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている 3. 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1, 2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス（授業概要説明、成績評価説明）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する			
	第2回	内容	Unit 1. Transportation	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第3回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第4回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第5回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第6回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第7回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第8回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第9回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第10回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第11回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第12回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第13回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第14回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	第15回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える			
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する			
	予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出された課題はコメントをつけて返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（２５％）、レポート・課題（２５％）、作品・発表（２５％）、実技（ ）、授業態度（２５％）							
教科書	『Hospitality on the Scene』（上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂）							
参考文献	なし							
注意事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 会話のクラスなので、恥ずかしがらず積極的に英語を話すこと。							

科 目 名	文化を訪ねる			単 位 数	2	実務経験	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3221			授業形態	演習				
授 業 の 内 容	京都について学んだことを基にして行動計画を作成し、12月の初旬に2泊3日の日程で京都を訪ねる。								
到 達 目 標	1. 自身で行動計画が立てられる 2. 計画に基づいて円滑に行動できる 3. 旅行の成果をパワーポイントなどで発信できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～旅行の概要と留意点	予習	京都に関する資料を用意する				
				復習	メモや書き込みをノートにまとめる				
	第2回	内容	テーマの設定	予習	テーマの候補を幾つか用意する				
				復習	メモや書き込みをノートにまとめる				
	第3回	内容	行動計画書の作成と提出	予習	行動計画の原案を用意する				
				復習	行動計画書の細部を詰める				
	第4回	内容	京都を歩くⅠ（ボランティアの清掃活動）	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第5回	内容	京都を歩くⅠ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第6回	内容	京都を歩くⅠ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第7回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第8回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第9回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第10回	内容	京都を歩くⅡ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第11回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第12回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第13回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第14回	内容	京都を歩くⅢ	予習	行動計画の確認				
				復習	メモと拝観券入場券などの資料を整理しておく				
	第15回	内容	パワーポイントの作成	予習	3日間の行動をまとめておく				
				復習	パワーポイントを完成する				
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時に説明							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（50 ）、							
教科書	特になし								
参考文献	必要に応じて指示する								
注意事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義								

科 目 名	イ ン タ ー ン シ ッ プ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナバ [®] リング [®] コード [®]	CAE3221		授業形態	実習				
授 業 の 内 容	インターンシップでは、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力を身につけ、実習を通して職業の理解をしていきます。実習は働くことの意味や責任を体感し、将来の職業選択のための良い機会になります。本授業は、学生の学ぶ側から社会人の働く側への変わるための手助けをする役割を担っております。							
到 達 目 標	1. 社会人として必要なマナーを身につけている。 2. 社会人として必要なコミュニケーション力を身につけている。 3. 社会人として必要な積極さを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3,4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス： インターンシップ実習の意義、概要とスケジュール	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	体験から学ぶ： 前回のインターンシップ実習生の報告会	予習	インターンシップについて調べる			
				復習	報告会の体験談をまとめる			
	第3回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種や職種の調査 自己分析と他己分析（グループワーク）	予習	興味のある業種と職種を考える			
				復習	業種と職種を検討する			
	第4回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接におけるマナーについて調べる			
				復習	書類の書き方を復習する			
	第5回	内容	インターンシップ実習の申し込み、実習先の決定	予習	実習の申し込み先を考える			
				復習	実習先の情報をまとめる			
	第6回	内容	仕事の基本的知識とマナー① 心構え、挨拶、言葉遣い、身だしなみ	予習	仕事のマナーについて調べる			
				復習	挨拶や言葉遣いを復習する			
	第7回	内容	仕事の基本的知識とマナー② 電話の受け方、かけ方、メモの取り方	予習	電話のマナーについて調べる			
				復習	電話とメモに関することを復習する			
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
				復習	実習時の事柄を振り返る			
	第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
				復習	実習時の事柄を振り返る			
	第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
				復習	実習時の事柄を振り返る			
	第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
				復習	実習時の事柄を振り返る			
	第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
				復習	実習時の事柄を振り返る			
	第13回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する			
				復習	実習時の事柄を振り返る			
	第14回	内容	インターンシップ実習報告会の準備	予習	報告会の発表内容を考える			
				復習	報告会の発表資料を確認する			
	第15回	内容	インターンシップ実習報告会（発表）	予習	報告会の練習をする			
				復習	報告会を振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	インターンシップ実習の講評を行なう。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（１０％）、作品・発表（２０％）、実技（６０％）、授業態度（１０％）						
	教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。						
参考文献	なし							
注意事項	なし							

科 目 名	キャリアスタディ（企業人に学ぶ）		単 位 数	2	実務 経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博 史 他	
ナンバリングコード	CAE3211		授業形態	講義				
授 業 の 内 容	この授業は産業界との連携による進めていく授業である。異なった業種の企業約 10 社から、課題を提出してもらい、それに対して学生がグループになって解決策を考え、発表するアクティブラーニング形式を採用している。学生は、企業から提出される課題をグループで考え、まとめてパワーポイントを使って発表する。それに対して、企業の担当者からコメントを受け、評価を得る。							
到 達 目 標	1. 問題を解決する力を獲得することができる。 2. 他人と強調して物事を成し遂げる力を育むことができる。 3. 社会の動きに関心を持ち、新たな知識や技能を育むことができる。 4. 自ら創造した考えや技法を発表する力を育むことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2. 3. 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の目的と内容についての説明とグループ分け。	予習				
				復習	説明内容について確認しておくこと。			
	第 2 回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	課題の確認をして調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 3 回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 4 回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 5 回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 6 回	内容	企業から与えられた課題に対して解決策を考える。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 7 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 8 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 9 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 10 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 11 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 12 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 13 回	内容	グループで考えた解決策を発表する。	予習	グループワークの課題について調査しておくこと。			
				復習	グループワークの課題について確認しておくこと。			
	第 14 回	内容	総合発表の準備	予習	プレゼンテーションのための準備をすること。			
				復習	プレゼンテーションの仕方を考えおくこと。			
	第 15 回	内容	総合発表	予習	プレゼンテーションの準備をすること。			
				復習	自己評価すること。			
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	総合発表終了後に、各自の目標達成度の自己評価をします。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（ ）％、作品・発表（70 ）％、実技（ ）％、授業態度（30 ）％						
教科書	特になし。							
参考文献	グループごとに課題に対応した資料を探すこと。							
注意事項	グループワークであり、各自が協働意識と責任感をもって最後までやり遂げることが大切です。							